

2020年10月1日

報道関係者各位

東急不動産株式会社

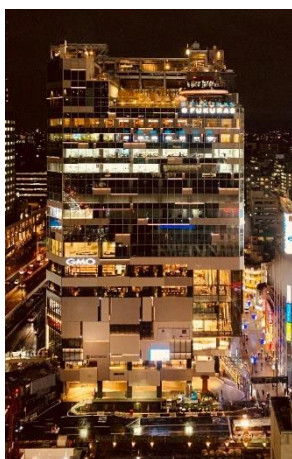


『渋谷フクラス』『横浜グリーンバトンプロジェクト』

『CAMPUS VILLAGE (キャンパスヴィレッジ)』『ブランズ円山外苑前』

グッドデザイン賞受賞

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）は、公益財団法人日本デザイン振興会主催の2020年度グッドデザイン賞において、「カテゴリー17-01 公共の建築・空間部門」で東急プラザ渋谷やオフィス等にて構成される複合施設の「渋谷フクラス」が、「カテゴリー15-01 中～大規模集合住宅部門」で複合開発の「横浜グリーンバトンプロジェクト」が、「カテゴリー20-02 地域・コミュニティづくり部門」で学生レジデンスの「CAMPUS VILLAGE (キャンパスヴィレッジ)」が、「カテゴリー15-01 中～大規模集合住宅部門」で分譲マンションの「ブランズ円山外苑前」が受賞しましたのでお知らせいたします。



渋谷フクラス



横浜グリーンバトンプロジェクト



キャンパスヴィレッジ



ブランズ円山外苑前



<受賞プロジェクトの紹介>

1、「渋谷フクラス」(カテゴリー17-01 公共の建築・空間)

【物件の特徴】

渋谷駅西口の玄関口、旧東急プラザ渋谷及び隣接街区を一体開発した複合施設。地権者や地元商店街との対話を重ね、既存の街の魅力を積み重ねていく、「小さな物語の集積」というコンセプトが共有された。建築は物語を支える舞台となり、多様な人々の思いや営みを受け止める。地域と共に、ここにしかない経験とは何かを考え続けたプロジェクト。

低層部は既存の街が持つ地形の魅力と賑わいを継承するため、壁面線を維持し、街に背を向けずに斜路に面して複数の店舗が軒を連ねる構成とした。外装壁面は街に溶け込みつつ新しい風景となることを意図し、街のスケールに合わせたランダムなタイリングパターンを、ガラスや少しずつ色の違う金属パネルの組み合わせにより実現。パターンのスリットに施された点、線、面の光が建築を覆い、時間帯と共に動的に表情を変化させる。渋谷の上空に新たな街の風景を生み出すことを目指した屋上広場は、立体的な空間特性を生かし、それぞれに環境の特徴を持たせた。利用者が画一的な体験を強いられるのではなく、様々な時間の過ごし方を選択できるよう配慮した。訪れた人々が街の賑わいに迎えられ、ポジティブな体験が記憶に残る。建築はその物語の舞台装置となることを目論み、什器や植栽はもちろん、アートや音や映像、サービスが空間に融合するデザインに取り組んだ。

【審査員評価コメント】

複合ビルの多くは、複雑な施設プログラムと戦い一まとめにするプロセスを経験するためであろうか、多様な機能を内包しつつもそれが感じられないデザインとなっているものが多い。ところがこの施設では、諸機能を衝突させるかのように、未統合のまま一つの建築を造ることで、複合施設の新たなデザインボキャブラリーを創り出している点が面白い。圧巻は屋上。空調機械と飲食店舗が同居しているような空間は、映画のセットのようで非常に魅力的なデザインとなっている。

【物件概要】

事業者：道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合/東急不動産株式会社/株式会社手塚建築研究所/
株式会社日建設計/清水建設株式会社

所在地：東京都渋谷区道玄坂1-2-3

交通：JR 山手線、埼京線、湘南新宿ライン「渋谷」駅徒歩約1分

構造・規模：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上19階 地下4階 塔屋2階

用途：事務所、物販飲食店舗、銀行支店、自動車車庫等

敷地面積：3,335.53㎡

延床面積：58,970.27㎡

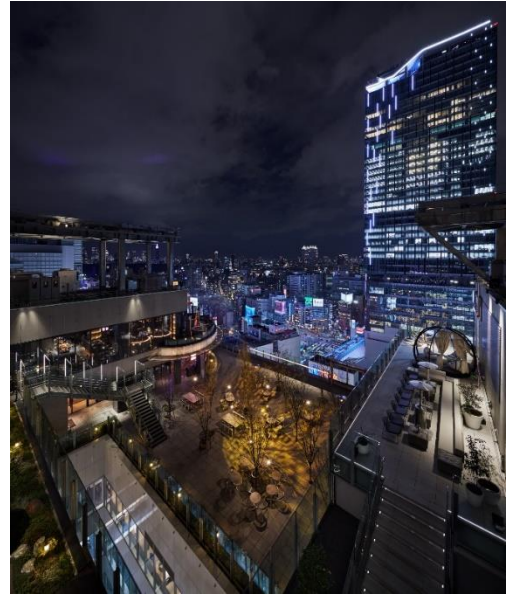
竣工：2019年10月

デザイナー・アキテクト：株式会社手塚建築研究所

マスター・アキテクト：株式会社日建設計

設計・監理・施工：清水建設株式会社





渋谷フクラス
左) 建物
中) 建物夜景
右) 眺望夜景

2、「横浜グリーンバトンプロジェクト」(カテゴリー15-01 中～大規模集合住宅)

【物件の特徴】

「横浜グリーンバトンプロジェクト」は、「SDG s 未来都市横浜」モデル事業として、2015年9月30日より推進してきた大規模複合開発であり、高齢化や環境に配慮した持続可能な住宅地モデルの構築を目的とし、魅力と活力のあふれる郊外住宅地の再生・活性化を目指した持続可能なまちづくりを推進するものである。

十日市場地区の周景配慮をした切妻屋根をモチーフに各棟をデザイン。多年代流入を誘導するために分譲/賃貸/戸建/高齢者向け住居を多様に設定した。

空間・施設計画においても人だまり空間、通路沿いのファニチャー、イベント広場、豊かな緑化計画の傍ら健康づくりができる散歩道、打合せ・教室・アトリエ利用もできるスタジオなど利用方法を多様にデザインした。地域の生活利便性向上のために、保育園/学童/ミニスーパー等を誘致。持続可能な住宅地において、場を使うプレイヤーの定着や使い方の試行錯誤が重要だが、当PJでは街区の入居者が入会必須のエリアマネジメント法人を設立、進め方をサポートする事務局を整え、組織としての足元を固めた。施設内居住者と地域のシニア層の交流やコミュニティカフェの地域住民利用、イベントでの新旧住民交流など地域活性や交流が着実に進められていて、持続可能なまちづくりの歩みを進めている。

【審査員評価コメント】

横浜の「グリーンマトリックス」と言われる線的・面的な緑地保存の都市計画のアイデアは1970年代からつづく重要な都市の財産である。本プロジェクトのように複数の居住棟が建つプロジェクトで、敷地内の緑地帯をうまく線的・面的につなぎながら活動の場をつくる試みは、本当に重要なアクションとして評価できる。保育園やコミュニティカフェやイベント広場や防災の取り組みなどプロジェクトにしっかり取り組まれている点も素晴らしい。一部ロフト型の住戸などで展開があるが、作りあげた豊かな緑地環境をどのように各住戸の暮らしの中で経験していけるのか、住居の骨格にさらにこだわると、輻輳した集合住宅によって地域の価値が変わるといえることが起きてくるようにも思えた。



【物件概要】

「ドレッセ横浜十日市場」

事業者：東急株式会社/東急不動産株式会社/NTT 都市開発株式会社
所在地：神奈川県横浜市緑区十日市場町1481-3
交通：JR 横浜線「十日市場」駅徒歩7分
構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上14階 地上9階 地上11階
用途：共同住宅、地域公開スペース、生活支援施設
敷地面積：14,742.06㎡
延床面積：27,809.43㎡
総戸数：311戸
竣工：2019年9月
設計・監理：株式会社長谷工コーポレーション
施工：株式会社長谷工コーポレーション
デザイン監修：株式会社梓設計

「クレールレジデンス横浜十日市場」

事業者：東急不動産株式会社
所在地：神奈川県横浜市緑区十日市場町1258-92
交通：JR 横浜線「十日市場」駅徒歩7分
構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上9階
用途：サービス付き高齢者向け住宅、共同住宅、コミュニティカフェ、保育園、デイサービス、カルチャースクール
敷地面積：7,240.96㎡
延床面積：11,454.03㎡
総戸数：サービス付き高齢者向け住宅181戸、横浜市高齢者向け優良賃貸住宅等32戸
竣工：2018年12月
設計・監理：株式会社東急設計コンサルタント
施工：株式会社フジタ
デザイン監修：株式会社梓設計

「ブルズガーデン横浜十日市場」

事業者：東急不動産株式会社
所在地：神奈川県横浜市緑区十日市場町1258-111ほか
交通：JR 横浜線「十日市場」駅徒歩7分
構造・規模：木造 地上2階
用途：戸建住宅
敷地面積：1,247.22㎡
延床面積：831.32㎡
総戸数：8戸
竣工：2018年4月
設計・監理：株式会社東急ホームズ
施工：株式会社東急ホームズ
デザイン監修：株式会社梓設計





横浜グリーンバトンプロジェクト 左) 建物 右) エリアマネジメント活動

3、「CAMPUS VILLAGE (キャンパスヴィレッジ)」(カテゴリー20-02 地域・コミュニティづくり) 【物件の特徴】

本ブランドは、多感な学生時代を多くの友人達と住まう豊かな交流体験と現代学生の生活スタイルに沿う居住空間を、企業と学生が共に創り上げることを目指した学生レジデンスブランドである。「学生レジデンスに住まう」ことでしか得られない体験の提供と、施設の枠を超えた多層的なコミュニティプラットフォームで「つながる」仕組みを構築した。

【審査員評価コメント】

学生寮だからこそ生まれる縁や機会というものがあり、それは多感な時期には良い経験になるのではないだろうか。ただ、既存の学生寮というものは、古かったり、必ずしも快適な空間ではないことも多い。CAMPUS VILLAGE はコミュニケーションが生まれるようにハードもソフトも設計されており、セキュリティも考えられ、食事の提供もある。確実に学生やその家族のニーズを形にしていることがわかる。これからは新しい学生寮の形を提案してもらいたい。



CAMPUS VILLAGE

(キャンパスヴィレッジ)

左上) 椎名町(外観)

右上) 椎名町(5F シェアキッチン)

左下) 椎名町(2F シェアキッチン)

右下) 赤羽志茂(カフェテリア)



4、「ブランズ円山外苑前」(カテゴリー15-01 中～大規模集合住宅)

【物件の特徴】

当該地は、札幌屈指の高級住宅地「円山」の中でも、円山公園の正面入口角地という稀少地に位置している。公園奥には北海道神宮の杜が広がり、他にはない神聖で静謐な空気感を生み出している。「ブランズ円山外苑前」は、その憧憬の地にふさわしい邸宅作品をめざし、富裕層が求めるデザインとクオリティを追求した。

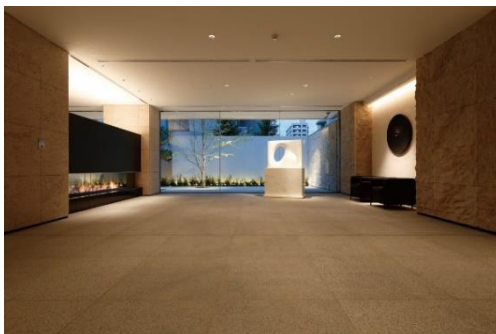
【審査員評価コメント】

大規模な集合住宅は、時に都市計画と大きな関係を持つことになる。本プロジェクトは、背後に円山公園を抱え、その上でしかも札幌の住環境を支える大通公園の都市軸を受け止めるように立つ。都市の空間経験の質にも関わってきってしまう場所のポテンシャルに対して、小手先の技ではなく骨太のデザインでしっかりと応答しようとする姿勢がまず評価できる。無釉タイルと石がつくるシックな物質感と、ボリュームの凹凸を工夫し古典的ながらもきちんと場面ごとの表情をつくっている外観デザインとは高いレベルで調和している。こうした地域の質をつくるようなデザインが都市の中で面的に展開していけば、将来的に大きな価値になると思う。個別プロジェクトごとの収支性やストーリー作りに依りすぎず、継続した取り組みとなることを期待したい。

【物件概要】

事業者：東急不動産株式会社
所在地：北海道札幌市中央区大通西28丁目59-5（地番）
交通：札幌市営地下鉄東西線「円山公園」駅徒歩3分
構造・規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上8階 地下1階
敷地面積：3,165.37㎡
延床面積：10,518.98㎡
総戸数：50戸
竣工：2019年7月
設計・監理：株式会社企画設計事務所オルト
施工：西松建設株式会社
デザイン：株式会社企画設計事務所オルト、アーキサイトメビウス株式会社





ブランド円山外苑前
左上) 外観
右上) 内観
左下) 1階ラウンジ
右下) 1階ロビー

【グッドデザイン賞とは】

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、よいデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

